

2013.11.9 ~ 10

SAGA16

Support for African/Asian Great Apes

アフリカ・アジアに生きる

大型類人猿を支援する集い

at 高知県立のいち動物公園

11/9(土)10:00~

10:00~ オープニング

10:10~12:00

◆双子チンパンジーに関する特別講演セッション

~ ダイヤとサクラ:ふたごチンパンジーの4年半 ~

「ダイヤとサクラの4年間」

山田 信宏(高知県立のいち動物公園)

「ふたごチンパンジーの発達にともなう社会関係の変化」

市野 悦子(京都大学霊長類研究所) 木村 元大(岐阜大学) 友永 雅己(京都大学霊長類研究所)

「2歳のふたごチンパンジーに対する母親以外の大人による世話行動」

岸本 健(聖心女子大学)

「チンパンジーのふたごとヒトのふたご どこが似ていてどこがちがう?」

安藤 寿康(慶應義塾大学)

13:00~16:00

◆シンポジウム「子育てを支援する:大型類人猿の場合」

「人工哺育で育てたニシゴリラを両親の元に戻しました」

長尾 充徳(京都市動物園)

「人工哺育のチンパンジーが群れに戻るまで

~多摩動物公園での事例~」

木岡 真一(上野動物園)

「人工哺育から実母との群れ復帰 チンパンジーの2組の母子について」

山内 直朗(日立市かみね動物園)

「オランウータンの母親はどのようにして『ひとり』で

子育てできるようにするのか。」

久世 濃子(国立科学博物館・日本学術振興会)

「野生チンパンジーの子育て」

橋本 千絵(京都大学霊長類研究所)

「大型類人の子育てをもっと知るために、

サルや他の哺乳類の子育ても見てみよう」

中道 正之(大阪大学大学院人間科学研究科)

いのちをつなぐ

NOICHI ZOOLOGICAL PARK
OF KOCHI PREFECTURE



11/10(日)10:00~

10:00~12:00

◆シンポジウム「野生動物保全・未来へつなぐ」

「ニホンカワウソに学ぶ、考える」

多々良 成紀(高知県立のいち動物公園 園長)

「高知県における野生ニホンザル保護管理の現状と課題」

葦田 恵美子(四国自然史科学研究センター)

「四国山地に生息するツキノワグマの絶滅回避へ向けた取り組み」

山田 孝樹(四国自然史科学研究センター)

「高知県産オオイタサンショウウオの保護活動」

渡部 孝(わんぱく高知アニマルランド 園長)

12:00 閉会

予約不要 参加無料

※発表者以外は、別途入園料が必要。

お問い合わせ

高知県立のいち動物公園

高知県香南市野市町大谷738

TEL0887-56-3509

e-mail: saga16noichi@gmail.com

http://www.saga-jp.org/sympo/saga16/

主催 SAGA16実行委員会

共催 (公財)高知県のいち動物公園協会

後援 (公社)日本動物園水族館協会

香南市教育委員会

高知新聞社

NHK高知放送局

RKC高知放送

KUTVテレビ高知

KSSさんさんテレビ

